

特別企画国際シンポジウム

「グローバル時代のソーシャルワーカー に求められるコンピテンス

～日米のソーシャルワーク教育の変遷をふまえて～

＜趣旨＞ グローバリゼーションが進む一方で、「ソーシャルワークのグローバル定義」が示すように、ソーシャルワーク実践と教育は、地域・民族固有 (indigenous) の知を尊重、活用し、よりローカルに展開していく必要があります。このようなグローバルな実践が求められるなかで、あらためてソーシャルワーカーに求められる機能や役割を明確化し、今日的課題に対応しうるコンピテンスを醸成していかなければなりません。そのため求められる教育はどうあるべきなのか。本シンポジウムでは、アメリカのソーシャルワーク教育の認定機関である米国ソーシャルワーク教育評議会 (CSWE) の副会長を招聘し、その変遷や課題を明らかにしていただくとともに、日本におけるジェネラリストおよびスペシャリスト養成の課題を議論します。

＜日 時＞ 11月16日(土) 14時～17時15分

＜場 所＞ 東洋大学赤羽台キャンパス20502教室
(後日、配信予定あり)

＜参加費＞ 無料

＜参加申込＞ こちらよりお申込みください

<https://forms.gle/JgY8X12RxCuHwbyB9>



＜プログラム＞

【特別講演】

「グローバル時代のソーシャルワーカーに求められるコンピテンスとは何か
～米国のソーシャルワーク教育の変遷をふまえて～」



米国ソーシャルワーク教育評議会 (CSWE) 教育担当副会長 Megan Fujita (逐語通訳あり)

【シンポジウム】

コーディネーター：志村健一 (東洋大学)

発題1	「グローバル・スタンダードからみる日本のソーシャルワーク教育 ～ジェネラリスト養成の視点から」	和気純子 (東京都立大学)
発題2	「子ども家庭ソーシャルワーカーのコンピテンスとソーシャルワーク教育 ～スペシャリスト養成の視点から」	山野則子 (大阪公立大学)
発題3	「米国におけるソーシャルワーク教育の現場から考えるコンピテンス ～日・米における経験をふまえて～」	菅野花恵 (米国バルドスタ州立大学)
ディスカッション ～ まとめ・閉会		

* 本シンポジウムは、科研費の事業として実施されます。第53回全国社会福祉教育セミナー2024の参加者は、そちらへ申し込むことで参加できます。